

令和4年度 学力向上モデル校事業

学力向上に向けて先導的に研究に取り組む学校をモデル校として指定し、各モデル校の研究を診断的、総括的に評価・検証し、その研究成果の普及を図ることで、学校の教育力を高め、児童生徒の確かな学力の向上に資する。

モデル校の役割

学校課題の解決

- ・学習状況調査結果
- ・児童生徒、教員、保護者対象のアンケート調査

学校の特色を生かした研究

- ・研究推進体制の工夫
- ・校内研修の活性化
- ・研究の継続

実践事例の蓄積

- ・授業の公開
- ・多面的な取組
- ・「さぬきの授業 基礎・基本」の実践

研究の診断的、総括的な評価・検証

- ・推進会議
- ・「研究成果の参考とする10の指標」
- ・指導主事、香川大学教員の訪問

研究成果の普及

- ・ホームページ掲載
- ・香川の教育づくり発表会、その他の発表会での発信

県内の小・中学校の児童生徒の学力向上、教員の指導力向上

★ 個を活かす協働的な学びの推進モデル校事業

- ・個を活かす協働的な学び合いの実現（多様な他者との協働 学習の個性化など）
- ・学んだ知識・技能の活用及びフィードバック
- ・少人数学級の実施や専科指導の拡充による「個を活かす協働的な学び」の質の高まりの効果検証



★ 教育の情報化推進モデル校事業

- ・情報活用能力を系統的に育むカリキュラムの作成や指導の方法について
- ・教科等の学習における効果的なICTの活用について



★ キャリア教育推進モデル校事業

- ・学校におけるキャリア教育を重視した教育課程の編成
- ・各教科等にキャリアの視点を入れた学びの具現化
- ・キャリア・パスポートの活用の工夫



★ 小学校外国語教育推進モデル校事業

- ・中学校との円滑な接続を図るための指導の在り方の工夫
- ・言語活動の充実に向けた学習環境整備と活用方法の工夫
- ・評価方法・評価の場の工夫

